

# 福島第一原子力発電所の状況

2016年2月9日  
東京電力株式会社

## <1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (2/9 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約2.6 m <sup>3</sup> /h	14.3 °C	4.17 kPa g	A系： -※ vol%
		炉心スプレイ系：約1.9 m <sup>3</sup> /h			B系： -※ vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約1.8 m <sup>3</sup> /h	19.0 °C	3.89 kPa g	A系： 0.00 vol%
		炉心スプレイ系：約2.4 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.00 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約1.9 m <sup>3</sup> /h	17.3 °C	0.23 kPa g	A系： 0.07 vol%
		炉心スプレイ系：約2.3 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.07 vol%

### 【1号機】

※作業に伴いデータ欠測

・原子炉格納容器ガス管理設備については、当該設備の信頼性向上を目的に、改造工事を行うため、当該設備の停止を計画している。

当該設備については、特定原子力施設に係る実施計画「Ⅲ 特定原子炉施設の保安」(以下、「実施計画」という)第1編第24条において、運転上の制限として「原子炉格納容器ガス管理設備の放射線検出器が1チャンネル動作可能であること」が求められている。

そのため、設備停止中は、上記の運転上の制限を満足しない状態となることから、実施計画第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)を適用し、計画的に運転上の制限外に移行して作業を実施する。

当該設備の停止予定日は以下のとおりであり、作業日毎に当該設備を停止し、作業終了後に復旧する。

<停止予定日>2016/2/8、9、10、11、12

2016/2/8 9:41～作業開始、14:42 作業終了、17:05 適用解除。

2016/2/9 9:40～作業開始。

## <2. 使用済燃料プール(SFP)の状況> (2/9 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	停止中	10.8 °C <sup>※1</sup>
2号機	循環冷却システム	運転中	25.9 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	17.7 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	- <sup>※2</sup> °C

※ 各号機 SFP および原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

※1 使用済燃料プール代替冷却システム停止中のため、至近のデータ(2/5 11:00)を記載。

※2 6:25 頃発生の使用済燃料プール代替冷却システム自動停止に伴うデータ欠損。

### 【1号機】

・使用済燃料プール代替冷却系について、当該系統の弁点検のため、2/5 14:37 に冷却を停止(2/17 18:00 までの約 292 時間停止予定)。冷却停止時のSFP水温度は 11.1°C。冷却停止期間におけるSFP水温度上昇率は 0.055°C/h で、停止中の温度上昇は最大で約 16.1°Cと評価されることから、運転上の制限値 60°Cに対して余裕があり、SFP水温度の管理上問題ない。

### 【3号機】

・使用済燃料プールにおける燃料交換機操作卓等の落下について、2/8 採取した使用済燃料プール水の放射能分析結果は以下の通り。

・セシウム 134 2.3×10<sup>5</sup>Bq/L ・セシウム 137 1.1×10<sup>6</sup>Bq/L ・コバルト 60 検出限界値未満(検出限界値 8.5×10<sup>2</sup>Bq/L)

前回と比較して有意な変動はなく、燃料破損の兆候は確認されていない。

### 【4号機】

・2/9 6:25 頃、使用済燃料プール代替冷却系の漏えいを示す警報が発生し、ポンプが自動停止。現場を確認し、6:39 に漏えい等の異常が無いことを確認。原因については現在調査中。なお、使用済燃料プール内には燃料は保管されていない。

### <3. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (2/9 11:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置(サリー)	淡水化装置(逆浸透膜)	淡水化装置(蒸発濃縮)	多核種除去設備(ALPS)	増設多核種除去設備	高性能多核種除去設備
運転状況	停止中*1	運転中*1	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転	ホット試験中*2	ホット試験中*2	ホット試験中*2

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 \*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

### <4. その他>

- 2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。2016/2/9 陸側遮水壁の凍結に必要となる工事が完了。  
2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- 2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- 2016/1/21～ H4エリアにおいてフランジ型タンクの解体を開始。
- 2016/2/9～ 3号機原子炉建屋1階にて、1/26より高所用除染装置(ドライアイスブラスト除染装置)による高所部の吸引除染を実施していたが、準備が整ったことから、ドライアイスブラスト除染を開始。
- 2016/2/8～ 構内において発生した雑固体廃棄物を焼却処理するため、雑固体廃棄物焼却設備を設置し、汚染のない模擬廃棄物を用いた焼却試験を進めてきたが、当該設備の性能に異常のないことが確認できたことから、2/8 16:05～汚染のある雑固体廃棄物を用いた焼却試験(ホット試験)を実施。2/18までを目途。

#### 【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

- 1号機原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体作業を開始。
- 2015/5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。  
7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。  
7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5に全ての屋根パネルの取り外しが完了。
  - 2016/1/8～ 支障鉄骨の解体作業を開始。

#### 【サブドレン他水処理施設の状況】

- 2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。  
9/17～サブドレン他水処理施設による地下水のくみ上げについて、昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え実施。
- 一時貯水タンクBの当社および第三者機関による分析結果[採取日2/3]は、同等の値であり、共に運用目標値を満足していることから、2/10に海洋へ排水予定。

#### 【地下水バイパスの状況】

- 地下水バイパス揚水井No.1～12のサンプリングを継続実施中。

#### 【1～3号機放水路の状況】

※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

##### <最新のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

##### <K排水路排水口のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

##### <H4・H6エリア周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**【タービン建屋東側の地下水調査／対策工事の実施状況】**

<地下水観測孔・海水サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】**

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上